久留米大学では、受診時に患者さんから取得された試料と診療情報等を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される試料・診療情報等は他の機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の枠組みの理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や雑誌等で公表される可能性がありますが、個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当するとされる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者ご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前にまでの受け入れとなりますのでご了承願います。

【研究課題名】感染性心内膜炎起因菌の遺伝的特徴の探索
【試料・診療情報の対象者（研究対象者）】
1）受診期間：西暦2017年1月から西暦2021年12月までの間に受診
2）受診科：久留米大学病院心臓血管外科・心臓血管内科
3）対象者：感染性心内膜炎と診断され、血液培養サンプルから細菌が検出された方
【試料・診療情報等の項目】
試料：血液サンプルから培養して得られた細菌
診療情報等：診断名、年齢、性別、検査日、手術日、既往歴等

【研究目的】
上記の試料・診療情報を使用し、感染性心内膜炎を引き起こす細菌の特徴を明らかにすることを目的とした研究実施のために、起因菌のゲノム解析を実施します。感染性心内膜炎は、細菌が血液を経由して心臓に入り込み、心臓の弁や心内膜に病巣を作ることで、炎症を引き起こし、弁を壊したりする感染症です。この研究では、感染性心内膜炎を発症した患者さんの血液サンプルから見つかった細菌がどのような遺伝情報を持つかを解析することで、どのような細菌が感染性心内膜炎を引き起こしているのかを明らかにします。この研究は、感染性心内膜炎の予防や治療法の開発に繋がる研究です。なお、単離した細菌のゲノム解析を行うため、患者さん由来の遺伝情報は一切含みません。

【研究（利用）期間】研究実施許可日から西暦2026年3月まで
【利益相反に関する事項】
本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません。
【問い合わせ先】
研究責任者（使用する試料・情報の管理責任者）：久留米大学医学部感染医学講座　奥野　未来
問い合わせ担当者：久留米大学医学部感染医学講座基礎感染医学部門　奥野　未来
電話：0942-31-7548（内線3201）
E-mail: okuno_miki@med.kurume-u.ac.jp

研究番号 21261